

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

構想の推進

総合計画を推進するための土台づくり

- 1 全員参加によるまちづくりの推進
- 2 市民の信頼に応える行政運営
- 3 健全かつ持続可能な財政運営

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	8	7	9	10	0		
				達成率	61.5%	53.8%	69.2%	76.9%	0.0%		
O1 市政への参画機会の推進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	1	0	1	2	0		
				達成率	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	パブリックコメントの推進	1件に対する意見数（年間平均）	R1 2件	目標値	3	3	3	3	3	件	企画課
				実績値	12.3	2.8	8.8	6.4			
				評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成			
O102	市民との協議機会の充実	未来ビジョン会議の開催回数	R1 8回	目標値	10	10	10	10	10	回	企画課
				実績値	2	3	8	12			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成			
O103	審議会等への参画推進	参画割合（参画人数実数／ポスト数）	R2 72.8%	目標値	75.0	77.0	79.0	81.0	83.0	%	企画課
				実績値	71.7	66.5	69.8	64.4			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
年度評価	R3	O101 令和3年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は49件となった。内容としては、伊東市新図書館基本計画（案）について多くの意見があったことから目標達成となった。今後も、多くの意見をもらえるよう、市民等に対し周知に努めていく。									
		O102 コロナ禍の影響により2回からの開催となった。今後も市民との協議機会の充実を図るため、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催できる方法で実施していく。									
		O103 令和2年度と比べ、実績値が減少した。1人で多くの審議会委員に参画している方もいることから、重複している方を選出しないよう庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
	R4	O101 令和4年度のパブリックコメント案件は4件、意見の総数は11件となった。内容としては、伊東市立地適正化計画（案）に対する意見募集について多くの意見があったが、他の3件については意見がなかった。案件ごとに概要版を作成し、分かりやすいように見ているため、より多くの市民から意見をもらえるよう、さらに周知に努めていく。									
		O102 コロナ禍の影響により3回からの開催となった。次年度以降は、新型コロナウイルス感染症が収束しつつあることから、市民との協議機会の充実を図るため、開催していく。									
		O103 昨年度と比べ、実績値が減少した。多くの審議会等に参画している方もいることから、重複している方を選出しないよう庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
	R5	O101 令和5年度のパブリックコメント案件は8件、意見の総数は70件となった。そのうち、伊東駅前広場整備計画（案）に対する意見募集について、23人から49件と多くの意見が寄せられ、関心の高さが認められた一方、福祉分野に関する2件の案件についてはともに0件であった。概要版の作成に当たっては、引き続き分かりやすさを心がけていきたい。									
		O102 オンライン参加も交え開催したものの、参加される委員の負担も考慮する中で開催数を調整したことから、目標回数は未達成となった。参加しやすい回数と充実した内容となるよう努めていく。									
		O103 昨年度と比べ、実績値が増加したものの、多くの審議会等に参画している方もいることから、目標値には届かなかった。引き続き、重複している方を選出しないよう、庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。									
R6	O101 令和6年度のパブリックコメント案件は8件、意見の総数は51件となった。案件8件のうち、意見があったものは半数の4件で、意見数の年間平均は目標値を達成しているため、広い分野において意見を伺えるよう努めていきたい。										
	O102 昨年に引き続きオンライン参加も交え開催するとともに、高校生の委員も参加しやすい日程調整をしたことで、目標値を達成することができた。										
	O103 昨年度と比べ実績値が減少し、目標値には届かなかった。1人で多くの審議会委員に参画している方が多いことから、できる範囲で重複している方を選出しないよう、庁内において審議会に重複している方の情報共有を図り、多くの市民の意見を市政に反映させるよう努めていく。										

O2 市民の自主的なまちづくり活動への支援				達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
					達成数	1	1	2	2	0		
					達成率	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値			R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	地域や市民活動団体等が行う社会貢献活動への支援	まちづくり事業又は文化振興事業実施団体数	R1 56団体	目標値	58	59	60	61	62	団体 以上	企画課 秘書広報課	
				実績値	43	56	54	47				
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O202	市民活動団体等を対象とした相談会や研修会などの開催	相談会・研修会の開催回数	R1 11回	目標値	13	13	13	13	13	回 以上	企画課	
				実績値	10	11	13	13				
				評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
O203	自治会加入促進等の支援	HP・広報紙等で自治会活動を周知した回数	— ※1	目標値	2	2	2	2	2	回 以上	秘書広報課	
				実績値	3	3	3	3				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
R3	O201 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止する団体があったため、事業を実施した団体数は43団体となり目標値を下回った。											
	O202 新型コロナウイルス感染症の影響から、市民活動団体等がイベントの開催等の活動を見合わせるようなケースが多かったと考えられ、相談会の対応件数が減少したことで、目標値を下回った。											
	O203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。											
R4	O201 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止はなかったものの、事業実施の団体数は56団体となり、目標値を下回った。引き続き、各補助制度の周知を図っていく。											
	O202 新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動自粛などの行動制限が強いられため、活動を見合わせる団体が多く、それに伴い相談会への申込み件数が減少したことで、目標値を下回る結果となった。											
	O203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。											
R5	O201 事業の中止はなかったものの、事業実施の団体数は54団体となり、目標値を下回った。引き続き、市民活動団体等が活用できる各補助制度の効果的な周知に努めていく。											
	O202 相談会を開催した結果、NPO法人の設立を考えている方や個人活動から市民活動団体へ活動範囲を拡大していきたい方の相談があるなど、市民活動の動きが活発化してきていると思われる。											
	O203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。											
R6	O201 事業実施の団体数は47団体となり、目標値を下回った。引き続き、市民活動団体等が活用できる各補助制度の効果的な周知に努めていく。【秘書広報課】事業実施の団体数は47団体となり、昨年の実績値及び目標値を下回る結果となった。目標値に近づきよう、支援制度について、見直しを検討していく必要がある。【企画課】											
	O202 相談会及び研修会の開催回数について、目標を達成できたことは評価できる。しかし、相談会を利用する団体や研修会への参加団体が固定化してきている状況にあるため、開催内容等について、工夫していきたい。											
	O203 広報紙にて3団体の活動を紹介し、加入促進のため自治会活動の周知を行った。											

※1 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

03	広報・広聴の充実及びわかりやすい情報発信		達成状況	指標数	4	4	4	4	0	単位		担当課	
			達成数	3	3	3	3	0					
			達成率	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	0.0%					
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7				
0301	広報紙等の充実	市からの情報提供 に対する満足度	R2	目標値	64.0	66.0	68.0	69.0	70.0	% 以上		秘書広 報課	
			62.9%	実績値	53.7	55.5	59.4	64.2					
			評 価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成						
0302	SNS等を利用した情 報提供機会の創出	年間掲載回数	R1	目標値	480	480	480	480	480	回 以上		秘書広 報課	
			319回	実績値	1,064	799	572	712					
			評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
0303	市民が意見や提案をし やすい環境づくり	タウンミーティン グの開催回数	R2	目標値	16	16	16	16	16	回 以上		秘書広 報課	
			16回	実績値	17	16	17	16					
			評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
0304	わかりやすい文書等の 作成のための仕組みづ くり	文書事務研修会の 開催	R2	目標値	1	1	1	1	1	回 以上		庶務課	
			1回	実績値	1	1	1	1					
			評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成						
R3	0301 基準となる令和2年度と比較し体系的・システムの大きく変更した点はないが大きく目標値を下回ったため、要因は情報提供の内容が推察される。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に特化した広報紙を作成していたが、令和3年度の情報発信は必要最低限に留めた。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報を意図的に発信することが必要である。												
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。												
	0303 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催。市内15地区に加え、伊東市PTA連絡協議会及び伊東市保育園父母の会連合会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。												
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。												
年 度 R4	0301 基準となる令和2年度と比較し体系的・システムの大きく変更した点はないが大きく目標値を下回ったため、要因は情報提供の内容が推察される。令和4年度は市政WEBアンケートで「よく読んでいる記事」上位の項目である「観光イベント」、「保険・福祉・介護」の情報を重点的に掲載した。引き続き市民のニーズを把握し、興味を持ってもらえる情報の発信に努める。												
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させることにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回っている。毎日配信を行っていた新型コロナウイルスの感染者状況を令和4年9月から週一回の配信としたため、前年度実績比は減となった。												
	0303 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。市内15地区に加え、伊東市保育園父母の会連合会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。												
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。												
評 価 R5	0301 令和5年度は令和4年度に実施した市政WEBアンケートで特に希望の多かった「健康・医療」の記事を中心に掲載し、市民のニーズに合った広報紙の作成に努めたが、目標値を下回った。引き続き、市民のニーズを把握し、情報発信に努めていく。												
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させたことにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。新型コロナウイルスの感染者状況の配信が無くなったため、前年度実績比は減となった。												
	0303 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催した。市内15地区に加え、伊東市保育園父母の会連合会及び伊東市PTA連絡協議会との子育て世帯タウンミーティングを開催し、多くの意見を聴取した。												
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、本市職員が閲覧できるガルーン（グループウェア）資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。												
R6	0301 令和6年度は令和5年度に実施した市政WEBアンケートで特に希望の多かった「健康・医療」の記事を中心に掲載し、9月号では認知症支援に関する特集を掲載するなど、市民のニーズに合った広報紙の作成に努めた。目標値を下回ったものの、満足度は上昇した。引き続き、市民のニーズを把握し、情報発信に努めていく。												
	0302 令和2年度からメールマガジンと各種SNSを連携させたことにより、各課からSNSへの即時掲載を可能とし、目標値を大幅に上回った。												
	0303 令和6年度のタウンミーティングは、対象者を限定せず、誰でも参加できる形式とした。市内15地区に加え、伊東市PTA連絡協議会との懇談会を開催し、多くの意見を聴取した。												
	0304 文書事務に関する新任研修のほか、本市職員が閲覧できるガルーン（グループウェア）資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。												

O4 情報化の推進及びデジタル社会への対応			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	3	3	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均 802,792件	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタル政策課
				実績値	1,497,895	1,262,677	904,138	933,533			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
		メールマガジン登録者数	R1 12,671人	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人	デジタル政策課
				実績値	19,182	19,940	20,487	26,127			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O402	オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R3.2.1 34件	目標値	50	65	130 (80)	145 (95)	160 (110)	件	デジタル政策課
				実績値	82	117	133	148			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。									
		O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。									
	R4	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度実績を踏まえ目標値の再設定を行った。									
		O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。									
	R5	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。									
		O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。									
R6	O401 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施するとともに、トップページのレイアウトをリニューアルすることで、見やすさや情報に到達するまでの操作性を改善し、目標を達成することができた。										
	O402 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：秘書広報課、デジタル政策課

※目標値における（ ）は、当初の目標値

担当課		構想の推進2の全指標達成率					
構想の推進		年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2		指標数	21	21	21	21	21
目指す姿	市民に信頼される	達成数	13	12	14	16	0
		達成率	61.9%	57.1%	66.7%	76.2%	0.0%

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				※ 基本的な取組・主な内容の達成状況							
				指標数	20	20	20	20	20		
				達成数	13	12	14	16	0		
				達成率	65.0%	60.0%	70.0%	80.0%	0.0%		
O1 信頼される人材の育成				指標数	5	5	5	5	5		
				達成数	3	2	3	4	0		
				達成率	60.0%	40.0%	60.0%	80.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101	社会情勢をとらえた研修の実施	集合研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	- ※2	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
				実績値	100.0	95.0	100.0	100.0			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O102	積極的な採用活動	職員採用試験における受験者数	R2 87人	目標値	90	95	100	100	100	人	職員課
				実績値	118	83	79	115			
				評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成			
O103	効果的な人事評価の実施	人事評価に関する研修等で実施するアンケートにおける受講者の習熟度	- ※2	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	職員課
				実績値	-	100.0	100.0	100.0			
				評価	× 未達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O104	職員の心身の健康保持	特定保健指導実施率	R2 32.4%	目標値	35.0	40.0	45.0	45.0	45.0	%	職員課
				実績値	29.4	38.9	37.3	39.3			
				評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O105	職員相互の応援体制の充実	伊東市職員業務応援体制実施要領に基づく実施率	- ※3	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%	職員課
				実績値	100.0	66.7	100.0	100			
				評価	○ 達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成			
R3	O101	令和3年度は、管理・監督職を対象としたコンプライアンス研修を実施した。研修受講後のアンケートにおいて、理解できたと回答した受講者が100%（内訳は「よく理解できた」が29%、「理解できた」が71%）となり、目標値を上回った。									
	O102	令和2年度から、公務員試験対策が不要なSPI検査を導入し、受付方法についても郵送可能としたことから受験者数が増加している。令和3年度については、技能労務職員の試験を実施したことから、さらに受験者数が増加した。									
	O103	令和3年度は、受講対象の人数が少なく、伊東市での研修が実施できなかった。人事評価については、静岡県市町村振興協会が主催する「新任管理者研修」において学習しているが、派遣研修であるため、アンケートによる習熟度の測定ができなかった。									
	O104	令和3年度は夕方の受講時間枠を増やし、例年受けられなかった庁外職員が受講できるようにしたが、業務の都合上急なキャンセルが発生したことから受講率が減少した。									
	O105	コロナワクチン接種事務、防災資機材の移動作業、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事務において職員の応援を実施した。									
R4	O101	令和4年度は、管理・監督職を対象としたハラスメント防止研修を実施した。研修受講後のアンケートにおいて、理解できたと回答した受講者が95%（内訳は「よく理解できた」が56%、「理解できた」が40%）となり、目標値を上回った。									
	O102	一般事務（大卒）及び技能労務職員の受験者数が伸びず、目標値を下回った。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い民間企業への就職希望が増加したものと推測する。引き続き、インターンシップの受入れや積極的な広報活動を行い、受験者数の増加を目指す。									
	O103	新任管理職を対象とした人事評価制度研修（eラーニング）を実施した。eラーニングの実施により、人事評価制度の一連の流れを受講者のペースで学習することができたため、研修受講後のアンケートでは、理解できたと回答した受講者が100%となり、目標値を上回った。									
	O104	指導対象者に通知を发出し受講の意思を確認している。令和4年10月に会計年度任用職員等が共済組合に加入したことにより、庁舎外対象者の割合が増加したため、目標値を達成できなかった。実績値は前年を上回っていることから、引き続き対象者への受講を促していく。									
	O105	応援体制を利用したい課には利用方法等の説明を随時行っている。実施要請は3件あったものの、そのうち1件は職員の調整がつかず、実施に至らなかった。引き続き、制度利用を希望する課に利用方法等の説明を行っていく。									
R5	O101	ハラスメント防止研修を2回実施した。研修受講後のアンケートにおいて、「よく理解できた」又は「理解できた」と回答した受講者の平均が100%であり、目標値を上回った。									
	O102	合格者が少ない職種については再募集を行っているが、受験者層全体の人口減やコロナ禍終了による民間企業への就職増が影響しているものと思われる。今後は試験実施時期等の見直しを検討し、受験者の増加に努めたい。									
	O103	新任管理職を対象とした人事評価制度研修を実施した。eラーニングでの実施により、受講者のペースで学習することができたため目標値を上回った。									
	O104	指導対象者に通知を发出し受講の意思を確認しているが、希望する職員の割合が低く目標値に達しなかった。今後も対象者に制度を周知し受講者増加に努める。									
	O105	短期的に人員を要する部署に利用方法等の説明を随時行い、2件の制度利用があった。									
R6	O101	業務手順の見直しや職員の意識向上を目的に、新たに「事務処理ミス防止研修」を2回実施した。また、各集合研修後のアンケートにおいて、受講後に意識を高めることが「できた」又は「おおむねできた」と回答した受講者の割合は100%となり、目標値に達することができた。									
	O102	従前の窓口及び郵送による受験申込のほか、令和6年度からオンライン申請による受験申込を可能としたことで、受験者数の増加につなげることができた。今後も採用試験の実施時期を早める等受験しやすい環境を整備することで、受験者増加に努める。									
	O103	新任管理職を対象とした人事評価制度研修を実施した。eラーニングでの実施とし、受講者のペースで学習できる環境を整えたことで、目標値に達することができた。									
	O104	令和6年度からは共済組合が行う特定保健指導が併催されたこともあり、市が行う特定保健指導を受講する者の割合が目標値に届かなかった。実績値は前年度を上回ったことから、引き続き対象者の保健指導受講を促していく。									
	O105	短期的に人員が不足する業務として、市民課「おくやみ窓口」と教育総務課「学校等施設関係事務」の2件について制度利用があった。									

※2 令和2年度までは、ポイント制としており、令和3年度からはパーセントでの集計とするため、基準値を一とした。

※3 令和2年度末に伊東市職員業務応援体制実施要領が策定されたため、基準値を一とした。

O2 持続可能な行政運営の確立・運用			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	1	2	2	0		
				達成率	25.0%	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O201	PDCAマネジメント サイクルの推進	見直し事業の割合	R2	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	%	企画課
			20.6%	実績値	22.8	23.8	22.1	21.8			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O202	改革提案機会の推進	私の一改革提案件 数	R2	目標値	55	60	60 (120)	60 (400)	60 (600)	件	企画課
			48件	実績値	52	48	57	47			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
O203	先進技術（AI・RPA）等の活用推進	先進技術を取り入 れた業務数（累 計）	—	目標値	検討	1	2	3	4	業務	企画課 デジタル 政策課
			※4	実績値	実証実験	1	4	5			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
O204	民間活力の活用推進	サマーレビューにおけ る委託代替事業数及 び新規委託事業数（累 計）	R2	目標値	1	2	3	6 (4)	7 (5)	業務	企画課
			1業務	実績値	0	1	5	6			
			評価	× 未達成	× 未達成	○ 達成	○ 達成				
R3	O201 令和2年度に比べるとパーセンテージが上昇したが、目標値には届かなかった。令和4年度については、重点的な見直し項目を増やすことで、積極的な見直しにつなげる。										
	O202 令和2年度に比べると提案数は若干増加したが、目標値には届かなかった。今後も優秀提案等を実現することで、提案数の増加に努める。										
	O203 音声文字変換システムについて、令和4年度の導入に向け実証実験を実施した。										
	O204 サマーレビューの見直しにおいて、委託代替に該当する事業はなかった。令和4年度のサマーレビュー実施に当たっては、各課へ民間活力の活用推進に係る検討を依頼するとともに、調書の確認の際にも同様の視点を持って確認を行い、事業の創出に努める。										
R4	O201 見直し事業の件数は増えたが、総事業数も増えており、割合としては目標値に届かなかった。令和5年度についても、引き続き見直し項目を増やし、積極的な見直しにつなげる。										
	O202 令和2年度と同様の提案件数となり、未達成となった。成果提案については、庁内で情報共有を行い、業務の効率化を図るとともに、ボトムアップ提案については、入賞した提案を中心に実現することで、提案件数の増加に努めていく。また、目標値について、庁内の共有ポータルサイトに提案を投稿することを前提に設定したが、本運用ができなくなったため、目標値を令和5年度から変更する。										
	O203 音声文字変換システムを導入したことにより、会議録作成時間の短縮につながり、業務の効率化に寄与した。										
	O204 新規事業を委託にて実施する取り組み1件にとどまった。令和5年度のサマーレビュー実施に当たっては、民間活力の活用推進に係る検討を重点項目として取り組み、民間活力活用推進に努める。										
R5	O201 全事業数は増加した一方で、見直し事業数は減少となった。形式化した作業にとどまらない事務事業の見直しを実施していくため、職員の意識醸成も図っていく。										
	O202 前年度から提案件数は微増となったものの、目標未達成となった。提案と実践につながるよう庁内での情報共有と提案しやすい環境を検討する。										
	O203 音声文字変換システムについては引き続き活用しており、デジタル政策課業務の一部（2業務）をRPAにより自動化することで業務時間の削減を図った。また観光課の公式HP「伊豆・伊東観光ガイド」内で、AIによる観光モデルコースの作成サービスを提供した。										
	O204 事業見直しに伴い、新規に民間活力の活用を進める事業は4件増加し、累計5件となり、目標値を上回った。令和7年度の目標値を達成したため、令和6、7年度の目標値を変更する。										
R6	O201 過去3年間の目標値未達成を踏まえて、サマーレビューの原点に立ち返り、「必要性」「成果検証」「役割分担」「事業の進め方」「業務量・時間の縮減」の5つの見直しの視点による既存事業の見直しを行った。一定規模の見直しは行われているものの、目標値には届かなかったため、効果的・効率的な事業内容への改革・再構築へ向けた議論を深めていく必要がある。										
	O202 提案件数は減となり、目標未達成となった。提案と実践につながるよう既存の提案等の庁内での情報共有はもとより、提案と実践につながる考え方や方法等の研修の実施を検討したい。										
	O203 これまでの取組に加え、ビジネスチャットシステム内で生成AIの有用性を確かめるためにChatGPTを試験的に使用した。自治体業務への活用が見込まれたため、ガイドラインを作成後、令和7年2月から本格使用を開始した。										
	O204 事業見直しに伴い、新規に民間活力の活用を進める事業は1件であったため、累計6件となり、目標値を上回った。										

※4 令和3年度から新たに検討していくものであることから、基準値を一とした。

05 情報公開及び個人情報保護の推進				達成状況	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	1	2	0		
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	情報公開制度の適正な運用	情報公開請求に係る15日以内の処理割合	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	庶務課
			100%	実績値	85.2	92.2	90.2	100			
			評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	○ 達成				
0502	個人情報保護制度の適正な運用	自己情報開示請求に係る15日以内の処理割合 ※6	R1	目標値	100	100	—	—	—	%	庶務課
			100%	実績値	100	100	—	—	—		
			評価	○ 達成	○ 達成	—	—	—			
0503	個人情報保護制度の適正な運用	保有個人情報開示請求に係る30日以内の処理割合 ※6	R1	目標値	—	—	100	100	100	%	庶務課
			100%	実績値	—	—	100	100			
			評価	—	—	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R3	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底していく。									
		0502 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。									
	R4	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底したい。									
		0502 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていきたい。 ※制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標については、当該指標中「15日以内」を「30日以内」に改める。									
	R5	0501 15日を超過する処理となった案件があり、目標未達成となった。適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知を徹底したい。									
		0503 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。									
R6	0501 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。										
	0503 今後とも適正な事務執行を図るため、職員に対する制度周知に努めていく。										

※6 制度改正に伴い令和5年度以降の管理指標0501については、当該指標中「自己情報開示請求」を「保有個人情報開示請求」に、「15日以内」を「30日以内」に改めたため、管理指標0503を新設した。

06 情報化の推進及びデジタル社会への対応			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	4	4	4	4	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0601	ホームページ・メールマガジンの充実	ホームページアクセス件数	H27-R1平均	目標値	805,000	810,000	815,000	820,000	825,000	件	デジタル政策課
			802,792件	実績値	1,497,895	1,262,677	904,138	933,533			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
		メールマガジン登録者数	R1	目標値	13,000	13,500	20,000 (14,000)	20,200 (14,500)	20,400 (15,000)	人	デジタル政策課
			12,671人	実績値	19,182	19,940	20,487	26,127			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0602	オープンデータ化の推進	オープンデータの公開件数	R3.2.1	目標値	50	65	130 (80)	145 (95)	160 (110)	件	デジタル政策課
			34件	実績値	82	117	133	148			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
0603	基幹系システムのクラウド運用	基幹系システムの稼働率	-	目標値	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90	%	デジタル政策課
			※7	実績値	100	100	100	100			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
R3	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
R4	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。また、メールマガジン登録者数については、令和4年度の実績を踏まえ目標値の再設定を行った。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。また、積極的に公開しているため、目標値の再設定を行った。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
R5	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施することで、目標を達成することができた。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										
R6	0601 「市の魅力の発信」及び「利用者目線」に重点を置いた情報の提供ができるよう職員に対して研修等を実施するとともに、トップページのレイアウトをリニューアルすることで、見やすさや情報に到達するまでの操作性を改善し、目標を達成することができた。										
	0602 市が保有するデータを積極的にオープンデータとして公開することで、目標を達成することができた。										
	0603 基幹系システムの安定的な運用ができているため、今後も維持できるよう努めていく。										

※7 システムのクラウド化に伴い、計測方法等が異なるため、基準値を一とした。

O7 行政内部の電子化の推進				達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
					達成数	1	1	1	1	0		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0701	電子化（キャッシュレス納税、ペーパーレス化、電子決裁等）に向けた検討及び導入	電子化の導入件数（累計）	—※8	目標値	1	2	3	4	5	件	デジタル政策課 庶務課 収納課 企画課	
				実績値	1	3	4	5				
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				以上
年度評価	R3	0701 令和3年9月から、納付書に印刷されたバーコードをスマートフォンで読み取ることによりクレジットカードや電子マネーで納付することができるキャッシュレス納税サービスを導入し、納税者の利便性を向上させることができた。										
	R4	0701 「伊東市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」の施行及び電子申請システムを導入し、子育て・介護関係の手続について電子申請を可能とした。【1件】また、ビジネスチャットシステムについて、本格運用を見据えた試行運用を実施した。令和5年1月から、軽自動車税種別割の納付情報を軽自動車JNKs（車検時に滞納がないことを電子的に確認ができるシステム）に自動連携をさせ、軽自動車協会における軽自動車車検時の納税証明書の添付が原則不要となった。【1件】										
	R5	0701 市民サービス、行政運営、地域経済の活性化の3つの柱について、市民ファーストのデジタル化に取り組み、持続可能なまちづくりを推進することを目指し、2月に「デジタルファースト宣言」を表明し、市公式LINEリニューアルのための予算を確保した。また、令和5年4月からQRコード等を利用した納付が開始され、金融機関で収納したデータが地方税共同機構を通じ送信されるため、金融機関からの紙媒体での伝達が減少した。【1件】										
	R6	0701 市民及び観光客の利便性向上等を目的として、令和6年7月に市公式LINEをリニューアルして公開した。公開に合わせ、これまでに構築したオンライン手続き等々にLINEから到達できるよう集約したほか、公的個人認証のシステムをLINEに搭載することで「伊東市電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」の申請がLINE上で全て完結できるよう試験的に実施した。【1件】										

※8 令和3年度から新たに連携事業を検討していくものであることから、基準値を一とした。

O8 文書等の標準化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	1	1	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0801	標準的な文書等の作成のための仕組みづくり	文書事務研修会の開催	R2 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	庶務課
				実績値	1	1	1	1			
				評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	0801 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
	R4	0801 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
	R5	0801 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									
	R6	0801 文書事務に関する新任研修のほか、ガルーン資料室に「伊東市の文書事務」を掲載し、職員への周知を図った。									

※機構改革に伴う業務の見直しのため、～R4：秘書課、情報政策課、R5～：職員課、デジタル政策課

※目標値における（○）は、当初の目標値

担当課	財政課・企画課・収納課・課税課・公営競技事務所	構想の推進 1 の全指標達成率					
構想の推進	総合計画を推進するための土台づくり	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	3 健全かつ持続可能な財政運営	指標数	13	13	13	13	13
目指す姿	健全かつ持続可能な財政運営ができています	達成数	11	9	9	9	0
		達成率	84.6%	69.2%	69.2%	69.2%	0.0%

1 成果指標（KPI）				指標数	2	2	2	2	2	
				達成数	1	1	1	1	0	
				達成率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
成果指標 1	全ての会計の地方債残高（臨時財政対策債を除く）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R1	目標値	320	315	310	305	300	億円	財政課
		324億円	実績値	310	298	285	273			
		評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成				
目標値の考え方	R1の324億円を基準に、健全化判断比率の状況等を勘案して、現在は、適正な地方債残高だと判断し、今後、大幅な税収増も見込めないことから、借入を抑制し、将来の負担を軽減するために300億円以下と目標値を設定した。									
成果指標 2	「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合（市民満足度調査）	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
		R2	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	%	財政課
		52.1%	実績値	45.3	49.4	47.6	52.8			
		評価	× 未達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成				
目標値の考え方	R2の52.1%を基準値と考え、市民の過半数が本市の財政状況を憂うことなく、生活（市民サービスを受受）できている状態である現状を維持していくことを目標としたため。									
R3年度	1（実績評価）・地方債残高については、目標を達成できた。 一般会計において、これまでの大規模事業の実施により地方債残高が増加しことに加え、新図書館建設事業が進捗しているので、今後借入の抑制に努める必要がある。 （次年度修正点）・今後も借入の抑制に努めていく。									
	2（実績評価）・令和2年度に比べ6.8ポイント悪化した。 （次年度修正点）・市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。									
R4年度	1（実績評価）・地方債残高については、目標を達成できた。 一般会計において、令和4年度の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 （次年度修正点）・今後も借入の抑制に努めていく。									
	2（実績評価）・令和3年度に比べ、4.1ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。 （次年度修正点）・市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。									
R5年度	1（実績評価）・地方債残高については、目標を達成できた。 一般会計において、令和5年度の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 （次年度修正点）・今後も借入の抑制に努めていく。									
	2（実績評価）・令和4年度に比べ1.8ポイント悪化した。 （次年度修正点）・財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はできているため、広報や周知に当たっては手法や回数を研究し、市民に分かりやすい財政状況の開示に努めていく。									
R6年度	1（実績評価）・地方債残高については、目標を達成できた。 一般会計において、令和6年度の借入額が抑えられたことにより地方債残高が減少したものの、今後も大規模事業が見込まれるため、借入の抑制に努める必要がある。 （次年度修正点）・今後も借入の抑制に努めていく。									
	2（実績評価）・令和5年度に比べ5.2ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。 （次年度修正点）・財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はできているため、周知の手法を研究し、市民により分かりやすい財政状況の開示に努めていく。									

2 基本的な取組（2桁コード）・主な内容（4桁コード）				指標数	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況	
				達成数	10	8	8	8	0	
				達成率	90.9%	72.7%	72.7%	72.7%	0.0%	
O1 健全な財政運営と財政基盤の強化			達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
				達成数	3	2	2	2	0	
				達成率	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%	
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O101 歳入の確保と歳出の抑制	実質収支比率	R1 2.3%	目標値	3.0～5.0	3.0～5.0	3.0～5.0	3.0～5.0	3.0～5.0	%	財政課
			実績値	5.4	5.3	6.3	4.7			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O102 経常経費の節減	経常収支比率	R1 88.8%	目標値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	%	財政課
			実績値	83.1	88.8	88.1	89.9			
			評価	○ 達成	× 未達成	× 未達成	× 未達成			
O103 借入金の健全化	実質公債費比率	R1 6.1%	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	%	財政課
			実績値	5.7	5.6	5.9	6.5			
			評価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
年度評価	R3	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。地方消費税交付金や地方交付税が増加し、人件費が減少したことなどから、前年度より改善した。								
		O102 経常収支比率については、地方交付税、地方消費税交付金及び地方特例交付金が増加し、人件費が減少したことなどから、目標を達成することができた。今後についても、さらに経常経費を抑制しつつ、市税の増収に努めていく。								
		O103 公債費比率については、目標を達成できた。要因としては、分子において、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が19,499千円、公債費に準ずる債務負担行為に係るものが64,735千円増加したものの、分母において、普通交付税額が943,635千円、臨時財政対策債発行可能額が382,499千円増加していること等による。								
	R4	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。新型コロナウイルス感染症の影響緩和により地方税が増加したものの、地方特例交付金が減少したこともあり、前年度とほぼ同水準となった。								
		O102 経常収支比率については、歳出では、人件費、物件費及び繰出金が増となり、歳入では、地方税や地方交付税が増となる一方で、地方特例交付金や臨時財政対策債が減となり、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
		O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。要因としては、分子においては、元利償還金の額が47,975千円、公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金が41,853千円増加しているものの、分母において、普通交付税額が386,836千円、標準税収入額が218,389千円増加していること等による。								
	R5	O101 実質収支比率については、目標を達成できた。地方税や地方交付税が増加し、物件費が減少したことなどから、前年度より改善した。								
		O102 経常収支比率については、歳出では、公債費、扶助費及び繰出金が増となり、歳入では、地方税や地方交付税が増となる一方で、地方消費税交付金や臨時財政対策債が減となり、前年度より改善したものの、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。								
		O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。元利償還金の額が30,010千円増、公債費に準ずる債務負担行為に係るものが20,163千円増、臨時財政対策債発行可能額が213,242千円減など指標悪化の要因もあったものの、普通交付税額が231,825千円増、標準税収入額が305,723千円増など指標改善の要因もあり、総合すると前年度よりも若干の悪化ではあるものの、引き続き目標値の範囲内となった。								
R6	O101 実質収支比率については、歳出について人件費や扶助費が増加したことなどから、前年度より1.6ポイント悪化したものの、目標を達成できた。									
	O102 経常収支比率については、歳出では、人件費、扶助費、物件費及び繰出金が増となり、歳入では、地方特例交付金や地方交付税が増となる一方で、地方税や臨時財政対策債が減となり、前年度より1.8ポイント悪化し、目標を達成することはできなかった。今後については、歳出においてはさらに経常経費を抑制しつつ、歳入においては市税の増収に努めていく。									
	O103 実質公債費比率については、目標を達成できた。普通交付税額が89,145千円増、標準税収入額が95,647千円増など指標改善の要因もあったものの、元利償還金の額が33,639千円増、一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金が14,768千円増、臨時財政対策債発行可能額が101,863千円減など指標悪化の要因もあり、総合すると前年度よりも0.6ポイント悪化ではあるものの、引き続き目標値の範囲内となった。									

O4 競輪事業の健全運営			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	3	2	0		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
O401	車券売上金の増加対策 (場間場外発売及び電話・インターネット投票の拡大)	年間総車券売上高 (本場開催分)	R1 150億円	目標値	160	170	180	275 (190)	275 (200)	億円	公営競 技事務 所
				実績値	270	318	329	331			
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O402 新規ファンの獲得	民間ポータルサイトによる車券売上高 (重勝式＋7賭式)	R1 48.5億円		目標値	68.8	73.1	77.4	206 (81.7)	206 (86.0)	億円	公営競 技事務 所
				実績値	161.8	199.1	238.3	240.9			
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	○ 達成			
O403 開催経費のより一層の適正化	開催経費率(払戻金75%を除く年間経費÷本場開催の年間総車券売上高)	R1 25%		目標値	25.0	25.0	25.0	23.2 (25.0)	23.2 (25.0)	%	公営競 技事務 所
				実績値	23.2	22.7	22.3	24.0			
				評 価	○ 達成	○ 達成	○ 達成	× 未達成			
年度 評価	R3	O401 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図っていく。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約59%(R2は約46%)に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図っていく。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる経費率向上を図りたい。									
	R4	O401 電話・インターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図りたい。令和6年度に特別競輪「第9回ウイナズカップ(GⅡ)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約63%(令和3年度は約59%)に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。令和6年度に特別競輪「第9回ウイナズカップ(GⅡ)」開催が決定したため、目標値を増加した。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。									
	R5	O401 民間ポータルサイトを中心としたインターネット投票の売上が好調なため、目標を達成できた。引き続き、魅力ある競輪場をめざし、売上向上を図っていく。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の約72%(令和4年度は約63%)に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
		O403 選手賞金等の上昇もあったが、業務見直しの結果、目標を達成できた。引き続き業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。売上好調につき過去3か年が目標値を上回ったため、目標値を上方修正した。									
評価	R6	O401 民間ポータルサイトを中心としたインターネット投票の売上が引き続き好調なため、目標を達成できた。今後も、魅力ある競輪場を目指し、売上向上を図っていく。									
		O402 民間ポータルサイトの売上が全体売上の72.3%(令和5年度は72.06%)に達する等好調なため、目標を達成できた。引き続きSNSや民間ポータル等を活用することによって、更なる売上向上を図りたい。									
		O403 選手賞金等の上昇や特別競輪開催もあり、業務見直しを行いながら開催運営に努めたが、必要経費が増加したため目標を達成できなかった。「車券売上金の増加対策」や「新規ファンの獲得」については目標達成しているので、継続して業務の見直しを実施することによって、更なる開催経費率向上を図りたい。									

※目標値における○は、当初の目標値